

菅原オート株式会社

令和 1 年度環境経営レポート

(対象期間: 令和 1 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月)



作成日: 令和 2 年 9 月 19 日

目次

	頁
I 環境経営方針	1
II 組織の概要	2
III 環境経営目標とその実績	4
IV 環境経営活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	9
VI 代表者による全体評価と見直しの結果	9

ごあいさつ

このたび、弊社の環境への取組状況を環境活動レポートとして取りまとめましたので、ここに公表いたします。

代表取締役社長 菅原一也

I 菅原オート株式会社環境経営方針

環境理念

菅原オート株式会社は、岩手山のふもと、北上川のほとり盛岡市において、昭和41年創業以来、自動車販売・整備業として事業活動を続けてきました。

このたび、弊社は環境汚染問題への対応が重要課題であるとの認識に立ち、事業活動に係る環境負荷の低減を図るため全社一丸となり環境保全活動に取り組むことを、ここに誓約します。

行動方針

- 1、 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
- 2、 廃棄物排出量の削減を推進します。
- 3、 水使用量の削減及び排水の適切な管理に努めます。
- 4、 化学物質の適正な管理を推進します。
- 5、 グリーン購入の推進に努めます。
- 6、 自動車販売や自動車整備に際し、環境配慮の推進に努めます。
- 7、 環境関連法規などを遵守します。
- 8、 地域とのコミュニケーションや社会貢献に努めます。

作成年月日 平成27年11月1日
更新日 平成30年9月1日

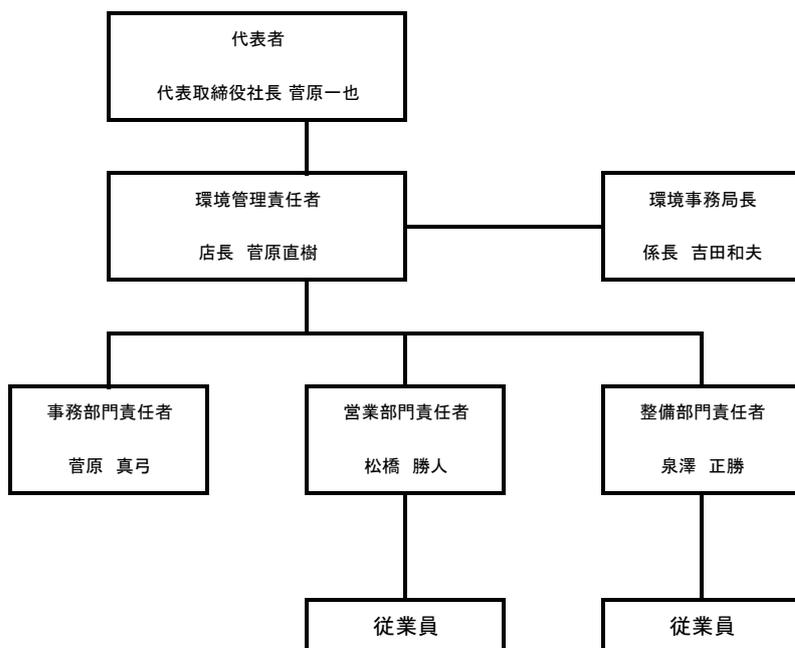
代表取締役社長

菅原 一也

II 組織の概要

- 1 名称及び代表者名
菅原オート株式会社 代表取締役 菅原一也
- 2 所在地
本社 岩手県盛岡市上田二丁目13-45
- 3 環境管理責任者及び担当者連絡先 019-652-3232
環境管理責任者(店長) 菅原直樹
担当者連絡先 (係長) 吉田和夫
- 4 事業活動の内容
自動車の販売と整備
新車及び中古車の販売
車検整備、一般整備、板金塗装、保険販売
- 5 事業規模
令和01年度
売上高(億円) 5.7億円
従業員数 12名
事業所の延べ床面積 503㎡
- 6 事業年度 4月～翌年3月(会社の会計年度)
- 7 認証登録の対象組織
菅原オート株式会社の全組織・全活動を対象範囲とする。

菅原オート株式会社エコアクション21組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

職名(氏名)	役割・責任・権限
代表者(社長) 菅原一也	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営方針の策定 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 全体の評価と見直し・指示。
環境管理責任者 店長 菅原直樹	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 問題点の是正、予防処置の指示・確認。 環境活動の取組状況を代表者への報告
環境事務局 係長 吉田和夫	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動チェック表等の実績集計。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者 松橋勝人 泉澤正勝 菅原真弓	<ul style="list-style-type: none"> 所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。 環境方針の部内への周知。 教育訓練の実施 環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。 問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員 菅原貞次 菅原英子 渡辺克也 生駒孝宏 菅原三智子	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

2 環境経営目標の設定

当社では、表2のとおり環境経営目標を設定し、環境負荷の削減等に取り組んでおります。

表2-1 環境経営目標

項目	単位	基準値 (平成26年 度)	中期の単年度目標		
			平成30年 度	令和01年度	令和02年度
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	141,251	115,826	118,878	112,697
2. 1一般廃棄物中間処理 量	kg/年	—	2,026	1,965	1,867
2. 2産業廃棄物中間処理 量	kg/年	—		124	119
3. 総排水量（水使用 量）	m ³ /年	1,431	1,373	1,346	1,266
4. 化学物質使用量	kg/年	—	適正に管理し、定期的に確認す る		
5. グリーン購入	件数/年	—	現状把握	現状把握	現状把握
6. 1エコカー販売	台	83	95	100	101
6. 2エコ整備の推進	台	164	190	200	200
7. 地域貢献活動	件数/年	12	12	12	3 ※1

(注)購入電力の二酸化炭素排出係数は、H25年度東北電力の実排出係数 0.591kg-CO₂/KWhです。

(注)廃棄物排出量はH28年度実績値をH29年度、H30年度の目標値としました。

※1 コロナの影響により地域活動自粛の為blank

3. 環境経営目標の実績

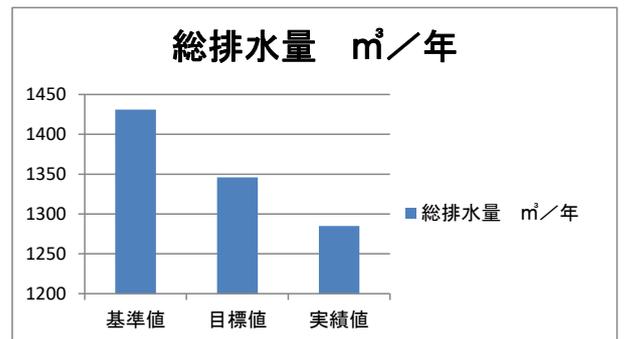
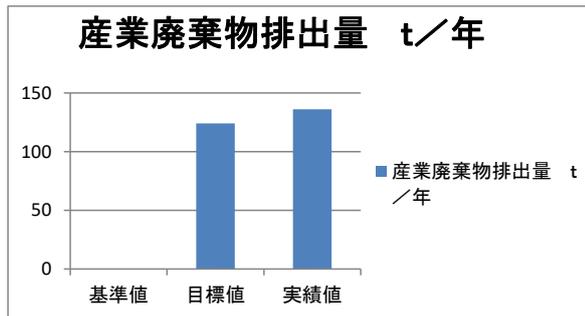
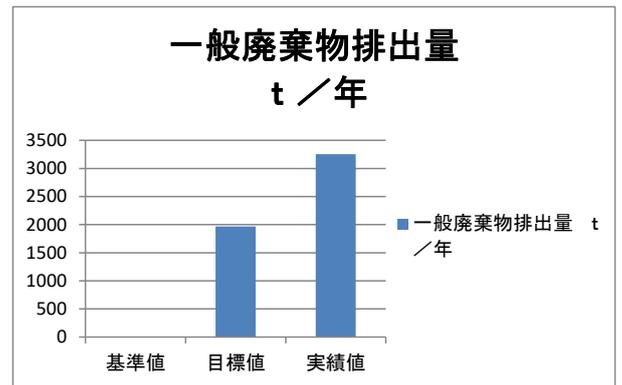
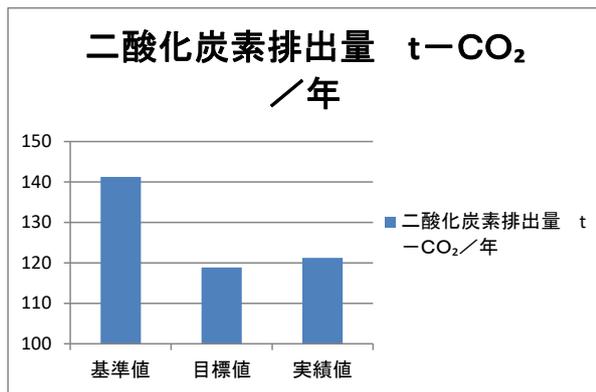
平成31年4月から令和2年3月までの評価結果を報告いたします。

表3 当該年度の環境目標の達成状況等

※平成31年4月～令和2年3月

項目	単位	基準値 (平成26年)	令和01年度※			環境目標の達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	141,251	2%削減	118,878	121,228	×
2. 1一般廃棄物中間処理量	kg	-	-	1,965	3,254	×
2. 2産業廃棄物中間処理量	kg	-	-	124	136	×
3. 総排水量 (水資源投入量)	m ³	1431	2%削減	1346	1285	○
4. 化学物質使用量	kg	-	-	-	-	-
5. グリーン購入	万円/年	-	-	-	-	-
6. 1エコカー販売	台数	83	5%増加	94	90	×
6.2エコ整備	台数	164	5%増加	202	212	○
7. 地域貢献活動	件数	6		7	3	-

(注)廃棄物排出量はH28年度実績値をH29年度、H30年度の目標値としました。



Ⅲ 環境経営目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

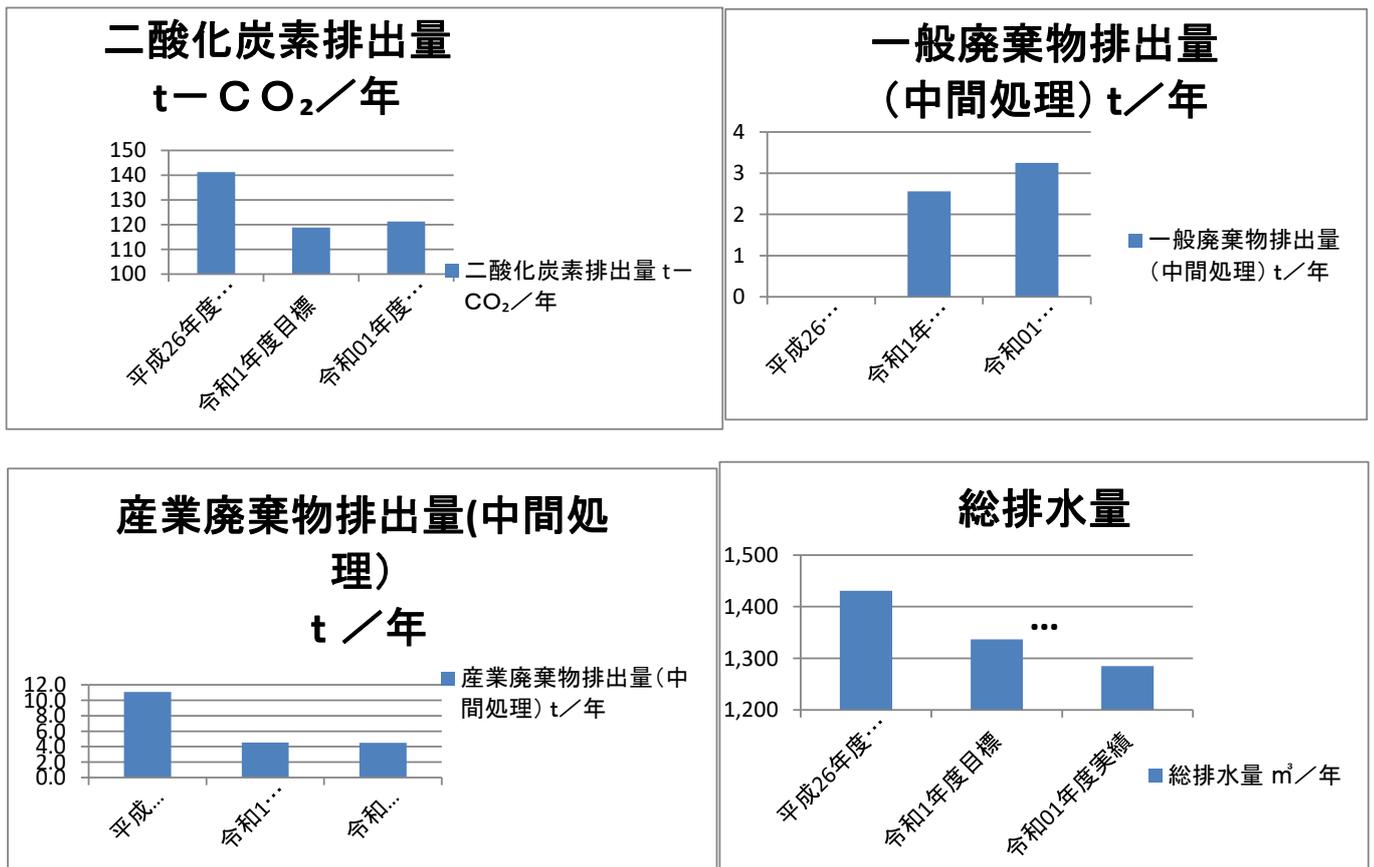
当社は、主に自動車販売、整備などを中心とした事業活動を行っており、環境負荷は、表1の通りです。

二酸化炭素排出量については、電気、車両油燃料等によるもの等が主なもので、平成27年度、11.5tです。

表 1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成26年度 (基準年)	令和1年度目標	令和01年度実績
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	141,251	118,878	121,228
リサイクル 一般廃棄物排出量	kg/年	—	1,318	991
中間処理		—	2,562	3,254
リサイクル 産業廃棄物排出量	kg/年	11,070	4,550	4,500
中間処理			5,330	5,500
総排水量（水使用量）	m ³ /年	1,431	1,337	1,285
化学物質使用量	kg/年	5.4	2	2.5
グリーン購入量	万円/年	—	3	3
環境配慮型商品、サービス	台数/年	239	257	261
地域貢献活動	件数/年	—	9	3

(注)購入電力の二酸化炭素排出係数は、H25年度東北電力の実排出係数 0.591kg-CO₂/KWhです。



IV. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容(達成手段)を表4の通り作成した。
 なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4 主な環境経営計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組み結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①昼休み残業時不必要な時の消灯、部分照明を徹底している ②使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯している ③夏季における軽装(クールビズ)をして、冷房の使用を抑えている ④エアコンの適温化(冷房28度程度)を徹底している ⑤圧縮空気のライン圧力が低下しないよう点検している	◎	残業を減らした。可能な範囲でエアコンの温度設定、停止が出来る。	次年度も取組を継続する。
	車両等の燃料の二酸化炭素削減	①社用車を利用する場合は、作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図っている ②エコドライブ等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐車中でのエンジン停止等)を励行している ③タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值(メーカー指定の空気圧)を保つように努めている ④排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輪整備を行っている ⑤代車貸出しの際は、燃料満タン貸出し・満タン返却を行なう	△	軽油の使用量、目標達成。ガソリンは微増。	引き続き低燃費エコカーの拡販に努める。社用車、代車も随時エコカーに切り替えていく。
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①暖房温度(暖房20度程度)の設定管理を徹底している ②暖房を必要な区域や時間に限定して使用している ③使用していない部屋の暖房は停止している ④冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)をして、暖房の使用を抑えている ⑤スチーム洗車の温度管理を適正に行っている	×	LPGは目標達成。灯油の使用量増える。	灯油の使用量削減は次年度の課題大。
廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①リターナブル容器に入った製品を優先的に購入し、使用している ②再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入している ③機器等について、リサイクルしやすい素材を使用した製品を購入している ④機器等の故障時には、修理可能かどうかをチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている ⑤商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している	×	一般廃棄物が増えたが、古い書類関係を電子化し、紙は処分したものが多し。	ごみ排出量の計量を続け、削減等の取組を継続する。
	リサイクルの促進	①紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している ②使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入を抑制している ③リターナブル容器(ビール瓶、一升瓶等)に入った製品を優先的に購入し、使用している ④ダンボール・古紙のリサイクル徹底を行なう ⑤	○	ダンボール・古紙のリサイクルについて今年度も徹底できた。	次年度も取組を継続する。
	産業廃棄物等の適正処理	①廃棄物の保管場所を設置し、飛散・流出・地下浸透・悪臭の発散防止に取組んでいる ②廃棄物の分別保管を行っている。混載がないか確認している ③廃棄物の保管状況を定期的にチェック(記録等)している ④廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている ⑤	○	本年度も前年度続き取り組みが良く今年度はほぼ横ばい。	次年度も取組を継続する。
総排水量削減	節水	①洗濯用水のバルブの調整により水量及び水圧の調節を図っている(水道の蛇口は全開しない) ②車両洗車時のストップノズルの使用を確認している ③洗車する場合は、節水を励行している ④手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している ⑤水道配管から漏水を定期的に確認している			
	排水処理	①廃液の回収や油止め等の施設から外部へオイルや有害物質等の漏れが無いよう点検している ②油水分離槽や排水溝の点検・清掃を定期的に行っている ③排水等の測定・監視を定期的に行っている ④オイル吸収マット等の整備等油の流出等事故防止対策を確認している ⑤浄化槽や排水溝の点検・清掃を定期的に行っている	○	本年度も排水の点検と実施。水路の清掃を定期的に行っている。	次年度も取組を継続する。
化学物質の管理推進		①塗料、下塗剤・洗浄剤、LLC等有害性の恐れのある化学物質の削減に取組んでいる ②有害性の化学物質や油等について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録・管理している ③燃料油、エンジンオイルや廃油等のタンク、パイプ等の保守・点検を定期的に行っている ④防火手順や消火設備等を確認し、事故や災害時の訓練を行っている ⑤事故や災害の際の来客の避難等の準備を行っている	○	LLCの漏えい等はありませんでした。	次年度も取組を継続する。
グリーン購入	環境に配慮した物品等の購入、使用等	①環境に配慮した物品等の調達に係る方針、基準等を作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づく購入を行っている ②環境ラベル認定等製品を優先的に購入している ③再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している ④社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる ⑤	○	グリーン購入については、品目が限られるので現状維持とする。	
製品及びサービスにおける環境配慮	①エコカー販売等における取組	①低燃費車、低排出ガス認定車等の低公害車の販売目標を作成している ②低燃費車、低排出ガス認定車等の低公害車の販売促進に積極的に取り組んでいる ③消費者に製品の環境に関する情報を積極的に提供し、説明している ④販売の際に環境保全型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行っている ⑤	△	微減。ほぼ横ばい	次年度も取組を継続する。
	②エコ整備における取組	①エコ整備・エコ車検等の販売促進に積極的に取り組んでいる ②エコ整備・エコ車検等に関する情報を積極的に提供し、説明している ③再生部品・中古部品の利用に取り組んでいる ④バンパーの回収・リサイクルに取り組んでいる ⑤	△	ほぼ横ばい	次年度も取組を継続する。
環境コミュニケーション・社会貢献・その他		①外部へ情報提供や啓発活動を行っている ②地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている ③外部からの情報提供、公表の依頼に対する窓口を置いている ④ ⑤	-	前年に引き続き道路の草刈りや周辺の草刈り、清掃、展示場前の歩道の美化等を実施した。	コロナの影響により活動減。次年度は取組を継続する予定。

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない △:前年に同じ
 達成率=目標値/実績値 × 100%

環境活動の状況



令和01年6月21日朝礼。店舗前、一般歩道における清掃活動
朝礼時、打ち合わせ等の様子



省エネ活動の掲示

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等について一覧表に取りまとめ、遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

住民等からの苦情もありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟について、問題ありません。

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

二酸化炭素排出量

①電力

前年同様目標には届かなかったが、前年度比での削減は出来た。改めて目標値の見直しを検討。残業時間を減らし、且つ残業時は極力省電力に努めた結果と思える。次年度も継続を指示。

②車両燃料

ガソリンは微増、軽油は減で、トータルでは前年比でほぼ横ばい。代車、社用車を随時エコカーに入れ替えていき、プラスの効果を期待したい。次年度も引き続き適切な運行管理を行うように指示した。

③灯油LPG

LPGはわずかだが削減出来た。引続き給湯器のこまめな温度設定に努めるよう指示した。灯油は大きくロス。定時勤務に努め極力残業を減らし、且つ冬場の作業効率UPの徹底、見直しを図るよう指示した。

排水量削減

前年より微減。このあたりが当社の平均値と思われる。引続きこまめな節水・止水を指示。これ以上増えないように注意。

その他

事務用品、引続き積極的にグリーン購入を継続。

製品、サービスにおける環境配慮

エコカー販売台数、エコ整備・車検は新型ウイルスの影響もあり3月は客数の減少が見られた。

節電・節水・燃料の節約・節減の意識は浸透してきている。EA21の取り組みで業務の効率化・残業時間の短縮にもつながり、結果それが節電等に繋がる良い効果が出てきていると思う。この活動は今後も継続していきたい。